

033 にいがたりんかいがっこう 2015



8/8、8/9 ◆水と土の芸術祭会場ほか ◆福島の子もたち、その家族を招待して、新潟の自然を楽しんでもらうと共に、芸術祭の作品を鑑賞して、思い出作りをしよう。◆同実行委員会 ☎ 090-8031-9846

034 妖怪は文化だ。「河童の招待状」妖怪パレード



8/23 ◆新潟日報メディアシップほか ◆新潟の要素を盛り込んだオリジナル妖怪を参加者各自が考案し、その姿に仮装して万代周辺を練り歩く。最後にコンテストを開催。◆新潟妖怪研究所 ☎ http://www.geocities.jp/fumimalu/youkaikenkyujo.html

035 新潟風景ほか堀と川、農村風景の思いでフィルム写真収集と上映展示会



8/23～10/12 ◆クロスバル映像ホール ◆家庭に眠る8ミリフィルムを発掘するために、発掘ホームビデオコンテストを実施。賞品は、フィルムのDVD化と拡大写真とする。◆にいがた映像ギャラリー

036 瀧ファンタジー IN 新潟 & 福島 - 音楽で心をつなぐ



8/31、9/23、9/24 ◆万代市民会館、福島市こむむわいわいホールほか ◆アフリカンパーカッション、ピアノを中心に、演奏、歌、踊りの総合ステージ。誰でも参加できる音楽の喜びをシェアできる場。(万代市民会館:8/31 14:00開場14:30～16:00) ◆Boku国際交流音楽倶楽部 ☎ blog.canpan.info/musicatutti

037 水と土、そして人をつなぐ灯 キャンドルガーデン 2015



9/5 ◆新潟駅南口中央広場 ◆訪れてきてくれた人々と、「歌」「踊り」「食」などと一緒に「交わり」「共生」し、未来へとつなげていきたいと思えます。◆NPO法人にいがたエキナン会 ☎ http://niigata-ekinan.com/candle-garden/

038 映画「阿賀に生きる」を観ながら、これからの話をしよう。



9/12 ◆新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」 ◆新潟水俣病をテーマに、豊かに生きるとは何かを問いかける映画「阿賀に生きる」を、制作に関わった方と観ながら、公害や未来について語り合う。◆あがこれ実行委員会 ☎ 080-3142-1684

039 稲穂で表現・にいがたアグリクラフト



9/19～9/27 ◆食育・花育センター ◆新潟の稲穂や農産物でアート作品を制作。その展示で新潟をPRする。制作体験に市内外から参加いただき、新潟ならではの「お・も・て・な・し」を行う。◆にいがたアグリクラフト ☎ 025-228-9321

040 「新潟町 500 年 水と土の歴史展」



9/19～10/4 ◆NEXT21アトリウム(1階) ◆歴史パネル展。CGグラフィックアートによる「水と土のまち」を作成。新旧MIX写真展(参加型写真撮影会+個人的秘蔵写真公開展)。◆新潟中心商店街協同組合 ☎ 025-222-0665

041 みずつちチェックイン



9/20 ◆みずつちのアート作品と新潟市内の街中にあるアートを融合させるフォトロゲイニングゲームです。◆株式会社けんと放送 ☎ www.kento-daigaku.com ☎ 025-240-2555

042 とやの物語 2015



9/23 (予定) ◆新潟県スポーツ公園及び鳥屋野潟周辺 ◆実際に鳥屋野潟の自然に触れ、役割の大切さを学びながら、鳥屋野潟の未来について語り合うシンポジウムや、鳥屋野潟の自然を感じ取る体験型メニューを行う。◆とやの物語実行委員会 ☎ http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/seisaku/toyano/

043 わらぼっちパフォーマンスプロジェクト



9/26～9/27 ◆エコスタ脇の田んぼ ◆稲刈りを終えた鳥屋野潟周辺の田んぼに見られる、稲わらをくっつけた「わらぼっち」。それを舞台に、若手舞踊家や子どもたちのダンスなどで、収穫を祝う。◆わらぼっちパフォーマンスプロジェクト

044 西大畑 まち散策+野点プロジェクト



9/27ほか ◆西大畑公園周辺 ◆きむらとしろうじんじんさんによる、「野点(のだて)」と陶器に絵付けをし、その場で焼き楽しむワークショップを実施。また、西大畑公園周辺の街歩きを行う。◆ヒッコリースリートラベラーズ

045 新潟市 8 区ムービー 2015



10/3ほか ◆ベースキャンプほか ◆新潟市8区ムービーと題し、2009年より3年かけて制作したシリーズの第2弾作品集を製作し、上映する。それをモチーフとした映画製作も行う。◆にいがた映画塾 ☎ n-eigajyuku.jimdo.com ☎ 090-3640-9424

046 つながる世界 ☆短編映画制作プロジェクト



10/3ほか ◆ベースキャンプほか ◆他民族との共生をテーマにした短編映画を、多数の外国籍の新潟市民と制作し、上映していく。◆Deep inside neo vision ☎ 080-4402-8672

047 「潟」の短編映画製作



10/10、10/11 ◆葵高等学園 新潟校 ◆鳥屋野潟と、水と土の芸術祭のアート作品をロケ地として撮影。未来の新潟を担う高校生が「潟」を通して自分の過去と向き合い、未来を見据える青春映画。◆葵学園 ☎ http://www.aoi-school.com/

048 潟の朗読会II



10/11 ◆駅南キャンパス ときめいと ◆詩の朗読、音楽の演奏を通して潟の美しさと新潟の文化の啓蒙を図る。◆さがなの会 ☎ 025-387-3130

049 水郷の里「嫁入船」復活プロジェクト



6/7 ◆小阿賀野川、北方文化博物館 ◆小阿賀野川流域で行われた嫁入船を再現すべく、花嫁花婿を乗せ、川を下り、北方文化博物館で婚礼を挙げる。往時の農村文化や郷土の歴史を再現する。◆横越コミュニティ協議会 ☎ 090-3641-1792

050 演劇「2015年のゴールデンタイム～ステキナハナサカセマ・ショー～」



7/18 ◆江南区文化会館 ◆独立を目指し大手花屋を辞め新潟市にやってきた主人公だが、うまく回らず日本海にグチる毎日。そんな彼にビッグチャンスが。彼を取り巻く人々との交流を描いた熱血コメディ。◆同公演実行委員会 ☎ 025-382-4689 ¥1,000円

051 呼び覚ます土の記憶 ～古代ハスと豪農の歴史～



7/18～10/4 (予定) ◆北方文化博物館 ◆館内蓮池で育つ大賀ハス(古代ハス)を利用した植物染めの生地を使い、古民家を会場にインスタレーション作品を展示します。作品展示やワークショップを通し、ハスの生命力と豪農の歴史の力強さを伝えます。※二千年前の遺跡から発掘された種子を、大賀博士が発芽・開花に成功させたもの。◆北方文化博物館

052 旧米蔵を活用したアート展示及び製作体験と食の交流



7/18～10/12 (毎週水曜・8月休館) ◆杜の蔵 ◆当時の名残を残す農具や米蔵、記憶を残した写真などと現代アートを融合させることで、新潟の過去の記憶や、文化、食を広くPRする。◆杜の蔵で食とアートにふれる会 ☎ 025-280-3418

053 よこごし旬物語～えんでばよこごし Ver.～



7/18～10/12 ◆えんでばよこごし ◆「よこごし田園風景プロジェクト」の特産品開発・地域ブランド事業をブラッシュアップ。食の魅力を発信する。◆特定非営利活動法人 えんでくる ☎ http://www.shokokai.or.jp/15/153231S0005/

054 よこごし田園風景 歴史学びプロジェクト



7/19、8/23、9/6、10/11 ◆えんでばよこごしと周辺 ◆まちあるき、かぐら鑑賞、『えんでばよこごし』でのバザールと食のふるまい。◆特定非営利活動法人 えんでくる ☎ http://www.shokokai.or.jp/15/153231S0005/

055 わく灯籠で夕涼み



7/26～8/25 ◆JR亀田駅前周辺 ◆かつて農作業に使用した田植え枠に灯りを灯した灯籠「わく灯籠」を亀田排水路公園、亀田本町通り、亀田駅西口・東口などに設置し、灯りの道を創り出す。◆亀田商工会議所青年部 ☎ http://kameda-yeg.com/

056 地域活動支援センタースワンと酒屋町の人達の劇「一杯の水」



8/9 ◆酒屋町民の家 ◆子どもから高齢者、酒屋の人達が演劇「一杯の水」に参加して地域交流を図る。脳障害についての講話、ダンス、チンドン屋で観客も参加してもらう。◆劇団 スワンの木 ☎ 080-5494-2553

057 でんでん祭り～田んぼで生まれた文化を後世に伝えるプロジェクト～



9/20、9/21 ◆北方文化博物館 ◆越後随一の豪農の館「伊藤家」にて、新潟における農業や伝統、生活文化の継承を目的としたシンポジウム、伝統芸能鑑賞会、三人餅つき等を行う。◆北方文化博物館 ☎ http://hoppou-bunka.com ☎ 025-385-2001 ¥入館料のみ

058 市民参加の演劇「江戸時代に亀田町誕生」



9/26 ◆江南区文化会館 ◆沼地であった中谷内新田を亀田町として誕生させ発展させた先祖の功績と「人は人と繋がって生きている」を演劇のテーマにして市民劇を行います。◆劇団BOBLED ☎ 070-6671-4088 ¥ 前売り券300円 当日500円

059 『あがのりゅう&しなのりゅう』2015



7/18～10/12 ◆石油の里世界館 ◆日本一の大河、信濃川、阿賀野川を「りゅう」をモチーフに新潟杉を作品にする。中国より伝来し、現在も神社仏閣の守り神として鎮座する「りゅう」のパワーと可能性を発信していきたい。◆ほん木館

060 小須戸 ART プロジェクト 2015



7/18～10/12 ◆町屋ギャラリー薩摩屋ほか ◆水と土の芸術祭2012参加作家の南条嘉毅や、過去のアートイベントに関わった作家、新たに公募で招聘する作家によるアートイベントを実施。◆小須戸小学校区コミュニティ協議会 ☎ http://satsumaya.web.fc2.com/

061 「七色の池」伝説を訪ねる



7/26、8/1、8/2 ◆七色の池周辺 (秋葉区秋葉1丁目) ◆夕刻より、七色の池の畔の展示物をライトアップし、町内外の散歩・ウォーキングの人々に楽しんでもらう。会場に担当者を配置し、「七色の池」伝説を語ってもらう。◆秋葉七色の会

062 伝承文化を稲わらや稲穂を使って表現



7/30、8/6、8/27 ◆秋葉区文化会館 ◆小学生から一般の人までが楽しく体験できる稲穂でトンボの飾り、亀を作成する。収穫飾り、福丸など難しい飾りも作成できるよう、少しずつレベルを上げて稲わらや稲穂に触れる。◆稲穂アレンジの会 ☎ 0250-24-6015

063 小須戸縞の記憶をつなぐプロジェクト



8/1～10/3 ◆小須戸縞工場跡ほか ◆明治から小須戸地区で生産された綿織物「小須戸縞」は、現在は生産が途絶え、記憶が失われつつある。その記憶を振り返り、今後につなげる。◆小須戸小学校区コミュニティ協議会 ☎ http://satsumaya.web.fc2.com/

064 大囃祭



8/16 ◆新津本町中央公園 ◆8月14日より仮設ステージを設置し、練習風景及び前夜祭的に盛り上げを図り、8月16日当日へ。当日は他の芸能団体を招き祭囃子との融合を見せたい。◆大囃祭実行委員会 ☎ 0250-22-0463